

# 週刊 学びのコミュニティ

第 43 号

平成 22 年 2 月 24 日発行



第 8 弾は、共創型学習『人間行動の科学』です。  
(後期・水曜日 5・6 時限／担当：荒木秀夫教授)



共創型学習は、もともと「創成学習」という名の授業としてスタートしました。5年前のことで、当時は、私自身が「創成学習教育開発センター」の教員も兼ねていたことから、その関係で授業を開設した次第です。

授業題目は、「人間行動の科学」で、それは共創型学習という名に変わった今でも引き継いでいます。どういう内容かという、身の回りの小さなことからスポーツや音楽に至る広く人間行動に関することで、学生自身が関心を持っていることを実験、解析したり、調査したりと少しでも科学的な方法を取り入れて、自らの手で同じテーマに関心を持つ仲間とともに研究し、まとめるというものです。

5年前では、20数名の規模で始まり、8～10ほどのグループで行っていましたが、最近は、年々減少傾向にあります。今年度は、学生さんだけで3名、それと社会人の方が3名という、文字通り少人数教育となりました。

これまでのテーマとしては、おおよそスポーツ系、音楽系、生活行動系といったところが柱となっています。どんな内容かという、ボールを蹴る動作を撮影しコンピュータによって分析する。バランス能力を、脳波(脳の活動を調べる)と筋電

図(筋の活動を調べる)から調べる。そして楽器を演奏する時の筋電図を調べて、熟練者の技術を見る。その他、睡眠実験、箸の持ち方の調査、効率的な記憶方法の分析などなど…です。

いずれも、学生さんが、もともと興味を持っていたこと、またはテーマ決めるための討論で関心を持ち始めたことなどを少しずつ研究らしい姿に持って行くといった感じで進めてきました。印象に残っているのは、私が、雑誌のインタビューを受けている時、たまたま授業の話題となって、出版社の方が大変興味を持ったため、ある受講生の実験が雑誌で紹介されたことで、発行されるとす



ぐに本人に渡したところ、大変喜んでいました。  
どんなに簡単で、ささやかな研究でもアイデアと関心を強く持っていれば人々の注目を浴びるということでしょうか。

今年の3名の学生さんは、「強い握力を発揮できる人は、単に力が強いだけではなく、何かコツがあるはず」ということを筋電図から、「反応の速さは、利き手と非利き手で差があるか」を反応時間から、そして、「単純な刺激でも、予測がで



きるかできないかによって、脳にはどんな差が見られるのか」を脳波の分析から、それぞれ調べました。発表会は、なかなか面白かったですね。そして良い考察をしていました。

来年度もぜひ、多くの学生さんが授業に参加して「俺って、私って、結構いけない？」と感じて欲しいものです。（文責：荒木 秀夫）

\*\*\*\*\*



## ～大学教育ボランティアとして大学の授業に参加しませんか？～



社会人の方に授業に参画して頂くこの取り組みも3年目の春を迎えます。“学びの基本”とは、“学ぶことの楽しさ”とは、一体なんなのでしょうか。学生と共に考え、学び合ってみませんか。

平成22年度前期には、以下の共創型学習科目5つと教養科目4つで、社会人の方を募集いたします。

2010年度 前期 科目名	担当講師（所属）	社会人定員	学生定員	開講日・曜日・時間帯
教養科目 心とからだの健康	福森崇貴、佐竹昌之、佐野勝徳	5	150	4月12日より全15回 月曜3・4限 10:25-11:55
教養科目 パンセと絵画	大橋眞、光永雅子、中恵真理子	5	教室定員	4月12日より全15回 月曜3・4限 10:25-11:55
名著講読—世界の見方— —文学作品や科学随筆を読む—	依岡隆児	5	14	4月12日より全15回 月曜7・8限 14:35-16:05
共創型学習 異文化交流から何を学ぶのか？	大橋眞、光永雅子、後藤壽夫	5	12	4月12日より全15回 月曜9・10限 16:20-17:50
共創型学習 人間行動の科学	荒木秀夫	3	20	4月13日より全15回 火1・2限 8:40-10:10
教養科目 アクティブラーニングと科学	斉藤隆仁	5	50	4月13日より全15回 火1・2限 8:40-10:10
名著講読—名著を通して現代社会を考える—	大橋眞、中恵真理子、後藤壽夫	5	12	4月13日より全15回 火曜7・8限 14:35-16:05
共創型学習 身近にある「ゆったりもの」 —方言をつかまえよう—	岸江信介	10	70	4月13日より全15回 火曜9・10限 16:20-17:50
教養科目 日本語の音声	岸江信介	10	150	4月15日より全15回 木曜3・4限 10:25-11:55

\*社会人の方に授業に参画していただく意義や役割をご理解頂くため、セミナーを開催する予定です。お申込み不要です。どうぞお気軽にご参加ください。

### 3月5日（金）14時～17時まで 開放実践センター第2講義室にて

\*お申し込みの流れ

3月2日（火）～3月9日（金）までの間に、開放実践センターで配布しております専用の申し込み用紙とアンケートに記入していただき、同センター内生涯学習係窓口にご提出ください。

3月16日（火）までに決定通知を送付いたします。

尚、何科目でもお申込みいただけますが、定員オーバーの場合は、上記セミナーの出席状況やアンケート内容などを参照の上決定させていただきますので、予めご了承ください。

ご質問・お問い合わせは 学生支援室（電話：088-656-7205）へお気軽にどうぞ。

### ～編集後記～

取材のため、カメラを抱えていくつもの授業にお邪魔させていただきました。いずれも個性的で興味深く、先生方が工夫を凝らされた授業に引き込まれ、つい長居してしまうことも度々。学生のみなさんが緊張しながらも懸命に自分の言葉で語る様子、社会人の方々が熱心に、そして楽しそうに学ぶ姿…それぞれ印象的でした。春から新しい学生さんや社会人のみなさんをお迎えして、またどんな表情をカメラに収めることができるのかと楽しみにしています。（境）